

平成 30 年 3 月 6 日 (火) 14:00～

場所：池田メディカルフィットネスセンター

1、出席者紹介

鹿屋市 花岡地区(白水・一里山)民生委員	
鹿屋市高齢者クラブ 花岡高千穂会 会長	
鹿屋市 白水町 町内会長	
鹿屋市地域包括支援センター	
池田メディカルフィットネスセンター 管理者	星野 一成

2、運営推進会議の主旨説明

- 1) 地域密着型サービス：高齢者が要介護状態になっても出来る限り、
住み慣れた地域で生活を継続出来る様にする為に創設されたサ
ービスであり（当センターは地域密着型通所介護・総合事業）、よ
り一層、地域との連携が求められるようになりました。
- 2) 運営推進会議の設置および開催：地域との連携や運営の透明性確
保の為に、利用者や地域の代表の方らにより構成される「運営推
進会議」を設置し、6 か月に 1 回以上開催し、活動報告を行い、評
価を受け、必要な助言を聴く機会を設けなければならなくなりました。その内容はホームページで公表します。

平成 29 年度 当センター事業報告

1) 活動状況報告

(1) 利用者の状況 (平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

①介護保険利用者 (84 名 男 : 38 名 女 : 46 名 H30.2.28)

: 延べ回数 (月平均 416.2 件)

介護量が軽度  介護量が重度

要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5	
34名		29名		11名		6名		3名		1名		0名	
10月		11月		12月		1月		2月					
利用開始	利用終了	利用開始	利用終了	利用開始	利用終了	利用開始	利用終了	利用開始	利用終了	利用開始	利用終了		
1名	1名	4名	0名	3名	0名	4名	0名	2名	4名				
	理由		理由		理由		理由		理由		理由		
	転居											体調不良	
												体調不良	
												体調不良	
												肩の痛み	

②通所サービス C (1 名) : 週 2 回 (月・木曜日 9 : 30～11 : 00)

: 延べ回数 (月平均 6.7 件) : 30 回で終了

③一般利用者 (登録 121 名) : 週 2 回 (月・木 11 : 10～12 : 25)

: 40 歳以上の方

: 延べ回数 (月平均 81 件)

2) 報告内容

(1) 事故やヒヤリハットの発生状況

- ・ H30.2.19 : 利用者がマシンに足を引っ掛け、転びそうになった。

予防策 ①転倒リスクのある人には、注意して見守り・介助を行う。

(2) 職員の入退職

入職 ①准看護師 (パート) 退職者の補充の為 (12月1日付)

②准看護師 (常勤) 来年度、退職者の補充の為 (3月1日付)

退職 ③看護師 (パート) : 家庭の事情により退職 (12月31日付)

異動 ④介護福祉士 (パート) : 池田病院→当センターへ (1月15日付)

⑤介護福祉士 (パート) : 当センター→ひだまり入所へ (2月1日付)

(3) 研修について : 月に1~2回、当センターと池田病院の研修に参加

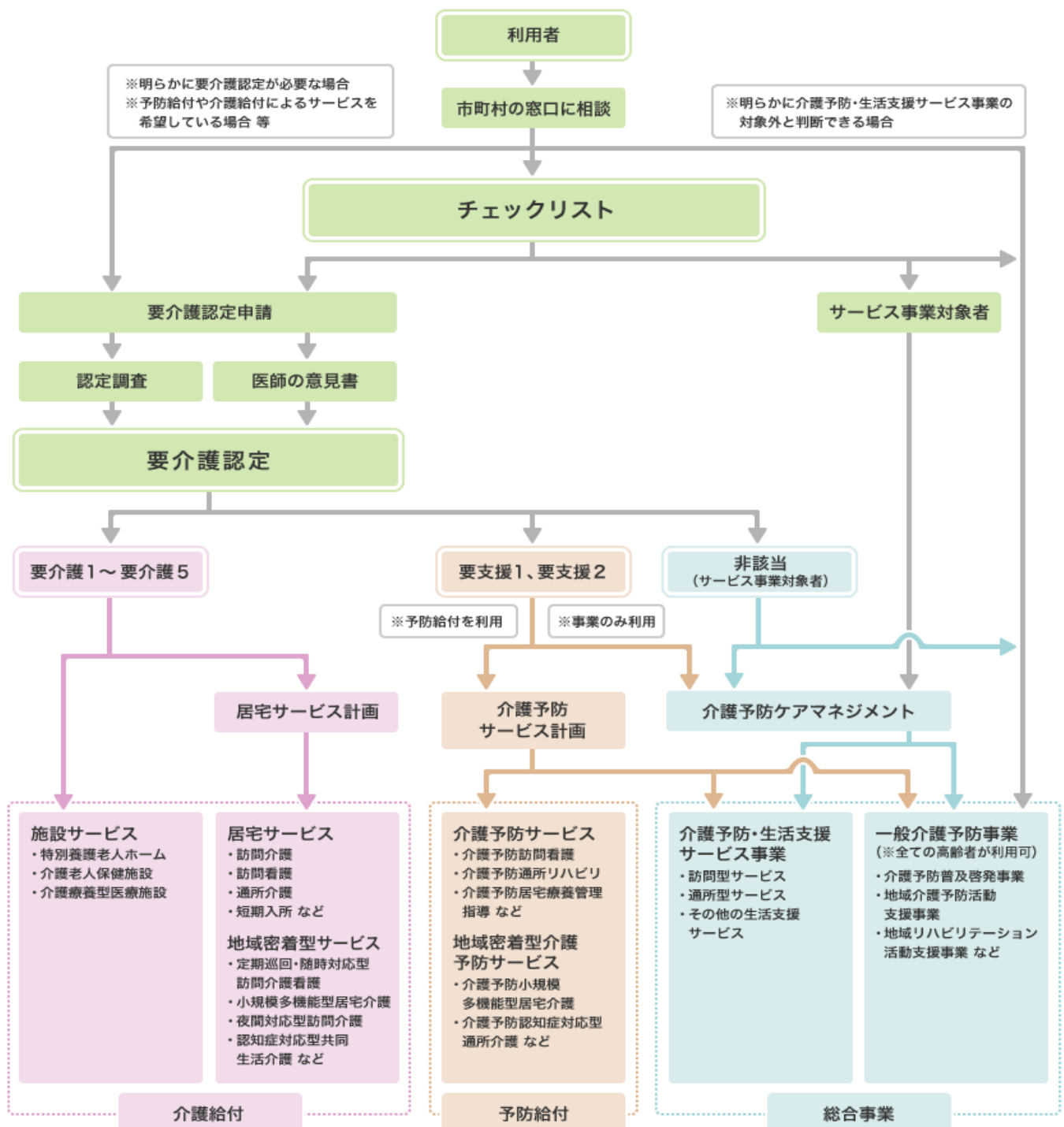
研修名	日時	場所	参加者
メンタルヘルス研修	2017/10/24 26	池田病院	管理者1名 看護職2名 介護職3名
非常災害時の対応	2017/10.30.	池田MFC	管理者1名 看護職1名 介護職3名
医薬品の安全な取扱い	2017/10/31 11/1.	池田病院	管理者1名 看護職2名 介護職2名
感染対策	2017/11/27.	池田MFC	管理者1名 看護職2名 介護職3名
ケアプランについて	2017/12/25.	池田MFC	管理者1名 看護職2名 介護職3名
接遇研修	2018/1/23 30	池田病院	管理者1名 介護職1名
認知症について	2018/1.29.	池田MFC	管理者1名 看護職2名 介護職3名
感染対策研修	2018/2.8. 13	池田病院	管理者1名 看護職2名 介護職2名
総合事業について	2018/2/26.	池田MFC	管理者1名 看護職2名 介護職3名

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）について

総合事業の趣旨（厚生労働省より）

「総合事業は、市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域で支え合う体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを旨とするもの」

対象者： ①要支援1 ②要支援2 ③サービス事業対象者



従来のサービスとの違い

- ①市町村による事業運営→地域の実情に応じたサービスを提供。
- ②地域の人的資源・社会資源の活用→地域活力の向上を目指す。
- ③利用者のニーズに合った柔軟な対応が可能→
介護保険の認定がなくても利用が可能。
- ④リハビリテーション専門職等の関与→介護予防などに助言。

3、質疑応答・アドバイスなど

質問①：総合事業について、ぴんぴん元気体操との関係はどうなのか？

答①：一般介護予防事業の中でぴんぴん元気体操は行われています。

質問②：運営推進会議は、どこの事業所でも行っているのか？

答②：当センターの様な地域密着型通所介護は、年に2回、地域の方との連携を
目的に、運営推進会議を行っています。

アドバイス①：通所介護の評判などは、口コミで広がるので地域で一人が始まると
内容が良ければ、利用者も増えると思います。